

道後地区社協関連ニュース (2021.3~2022.2)



- ① 防災頭巾を作り独居高齢者へプレゼント（8月～10月）
包括支援センター桑原・道後の提案により、フレイサロンやサービス事業所が協力し、防災頭巾を作成し、地区の独居高齢者（民生委員がみまもりをしている独居高齢者）約100名に配付しました。
- ② 道後温泉入浴体験事業（10月19日）
今年度で10回目を迎えました。コロナ禍により、入浴はせず、冠山、空の散歩道、湯神社、中島神社、飛鳥乃湯泉、椿の湯、分湯場の見学や研修を行いました。
- ③ 第40回高齢社会をよくなる女性の会全国大会in松山に出席（10月23,24日）
人生100年時代の「地域社会のあり方」「介護のあり方」「家族のあり方」を考えました。
- ④ 道後地区周辺防災訓練に参加（11月11日）
道後公園史跡公園東グラウンドで行われた訓練に参加しました。「コロナ期における防災訓練」「全天候型訓練」「アマチュア無線」「実災害に即した訓練」が行われました。
- ⑤ 地区社連第3ブロックB研修会に出席（11月30日）
「311を教訓に！防災・減災社会の実現を」と題した「NPO法人えひめ311」副代表澤上幸子氏の講演をお聞きしました。

地域の話題

紅葉町町内会の石手川河川敷清掃

石手川緑地公園のお掃除を、地域の方が中心になり、毎年4月から10月第4日曜日の9時から10時まで行っています。

興味のある方はぜひ参加してください。きれいになって気持ちがいいです。



編集後記

今号より保管を考え、左綴じにしています。

一方、防災マップは情報が多く、校正もすごい量でした。

編集委員
啓発調査部長 藤井 康

道後地区社会福祉協議会

道後福祉だより

道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,289世帯
人口	11,320人
男性	5,196人
女性	6,124人
65歳以上	2,860人
高齢化率	25.3%

(令和4年2月1日現在)

編集・発行
道後地区社会福祉協議会

自然災害に備え防災マップを作成！

5年ぶり第2版を全戸配布

道後地区社会福祉協議会では、地球温暖化とともに頻発する大雨・洪水・土砂災害や来るべき“南海トラフ巨大地震”などに備えるため、「道後地区福祉・防災マップ」第2版を作成し、道後地区の全戸に保存版として配布することにしました。

近年はいつどこで天災が起こってもおかしくない状況にあります。現に、松山市には、土砂災害警戒区域が数多くあり、道後地区にも該当箇所があります。

このような大規模災害発生時には、地域住民自身が「自分の命は自分で守る」「自分たちの町は自分たちで守る」更には「自助・共助に基づく地域防災力」を高めるための参考資料として活用してほしいと思います。



防災マップ(ハザードマップ)の変更点

令和3年5月20日から避難情報等について変更がありました(右図)。それまで定めていた ①避難準備・高齢者等避難開始 ②避難指示・避難勧告 ③災害発生情報を警戒レベル1～5の5段階に改めたことです。これにより従来の避難勧告は廃止となり、警戒レベル4の避難指示で危険な場所から全員避難することになりました。特に、警戒レベル5は緊急安全確保と既に命が危険な状況であり、この発令を待ってはいけません！ なお、警戒レベル3は、高齢者以外の人も危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

いざという時に備えて……

災害などから命を守るためには、防災グッズを備えるなど自助・共助が重要なことはこれまでの経験から明白です。そして、家族、近所、職場、地域などの「つながり」や「お互いさま」の気持ちが「備え」の重要な鍵となります。

最後に、災害時の対応や連絡方法など「災害時のわが家のルール」について1年に一度は家族防災会議を開き、家族全員で話し合っ
て確認しておくことが大切です。その際、自分たちが住むまちの地形や災害履歴などの特性を知ること
も重要です是非調べておいてください。

防災・減災のキーワード **【地域の底力が人を救う!】**



赤い羽根
共同募金のお礼

道後地区共同募金会会長 佃 侑三

地区のみなさまはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和3年度共同募金に積極的にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年度は、感染予防をしながらの募金活動でしたが、お陰さまで多額の募金を

集めることができました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいきいきサロン事業等に活用されています。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

サロン活動

地域の65歳以上の人が作る、自分達のためのサークルです。道後地区には3サロンあります。近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。
(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、社協の最も大きな事業で、社協OBも大勢支援しています。

令和3年度のサロン活動は、昨年に引き続き新型コロナの影響で中止・再開を繰り返しながら、時間も1時間に短縮となり、歌や演奏や茶話会ではなく、脳トレ中心で体操・レクリエーション・手芸など限られた中で行っています。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	村井 和子	石手分館	第1・2・3水曜日	13~15時
	脳トレ・まつイチ体操・つまみ細工ストラップ作り・フラワーフォトスタンド作り			
②道後サロン・マドンナ (男性3名 女性16名)	宮内 哲男	道後公民館	第2・4火曜日	10~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・ディスコン・フラワーアレンジメント			
③フレアイサロン道後 (男性2名 女性18名)	内山 敏枝	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時
	てくてくデイ・脳トレ・小物作り(写真立て・クリスマスツリー・ひな飾り)			

校長インタビュー

道後小学校

校長 井上 英明



Q1 校長先生が小学生の時、記憶に残っていることは何ですか？

私は、松山市立雄郡小学校に通っていました。5年生の時の全校児童は、約2,400人でした(6年生の時、たちばな小学校と分離)。運動会は、学年別で実施。休み時間に遊びで使える広さは、教室の大きさまでといった制限がありました。このほか、チャイムが鳴るとみんな一斉に動きを止めるなどの不思議なルールもありました。どこを見ても子どもだらけの時代でしたが、みんなで楽しく外で遊び回っていたことを思い出します。

Q2 日頃心にかけていることは何ですか？

昨年度は、『いのうえのお約束』を子どもに呼び掛けていきました。2年目の今年度は、このことに加え、私の名前を使って、『ひであきの願い』を、機会を見つけて話すように心掛けています。

【ひ】 ひたむきに 【で】 できると信じて

【あき】 あきらめない道後っ子になってほしいです。

Q3 これまでの貴重な体験はどんなことですか？

愛媛県庁に勤務していた2012年夏、高校生ボランティアを連れて東日本大震災の被災地である宮城県七ヶ浜町に行った時のことが心に残っています。片道約20時間のバスの行程でした。ボランティアセンターに集まった人々の復興支援にかける思い、仮設住宅での子どもたちとの関わり、すべてを失ったことを淡々と話す住民の心の叫び等々、鮮明に覚えています。あれから10年、今の自分にできることは、「決して忘れて欲しくない」と言われた、これらの出来事を子どもに伝えていくことだと思っています。

Q4 道後地区に強く言いたいことは？

道後の魅力にすっかり染まっています。卒業しても、道後を離れても道後をずっと愛する子どもを共に育てていくようお願いします。



道後中学校

校長 清川 宜博



Q1 子どもの頃の思い出は？

家から小学校までの往復7kmを6年間歩いて通学したことです。おかげで長距離を歩いたり走ったりすることは苦痛ではなくなりました。近所の子どもたちにとっては当たり前のことでしたが、ある年、遠足の行き先が近所の神社になったときは、「毎日遠足の距離を歩いているの？」と衝撃を受けました。

Q2 愛読書は何ですか？

仕事にあまり関係のない本としては、ミステリー小説をよく読みます。道後中学校の図書館にある、東野圭吾さん、東川篤哉さんの作品は読破しました。最近、よく読んでるのは、知念実希人さんの作品です。医師免許を持っている作家で、医療の知識を駆使した話の展開についつい読み入ってしまいます。

Q3 生徒にお薦めの本はありますか？

特にお薦めという作家やジャンルはありませんが、読書は是非取り組んでほしい活動です。よく言われること

ですが、読書は人生を豊かにしてくれます。映像の方が記憶に残ると言われていますが、文字の情報により読者がそれぞれ少しずつ違った情景を思い描くことも読書の楽しみだと考えます。また、一つの作品を創り出すために、どれだけの情報を収集して創作しているのかを考えてみるのも楽しいものです。情報収集量で言えば、漫画も負けてはいません。私が感動したのは、さいとう・たかをさん、手塚治虫さんの作品です。自然・歴史・経済・医学などの莫大な情報の下に成り立っています。いろいろな本を手にとって、それぞれの楽しみ方を見付けてほしいと思います。

Q4 これまでの貴重な経験は何ですか？

長女が1歳半の時に、情緒障害があることが分かったことです。当時は思い悩みましたが、そのことで人生観が大きく変わりました。自分の生き方のベースになっています。

